

冬の里山活動体験（2月15日）活動報告

2月15日（日）鹿背山にて冬の里山活動を行いました。

参加者は子ども7人、保護者3人、サポーター4人、事務局3人、川本さん、藤井さん、加藤さん3人の合計20人でした。

今回は以前職員さんが作ってくれた「火おこし器」を使って、火おこし実験をしてみました。横木を上下させて、ひもでつないだ軸棒を回転させるのですが、なかなかうまく続けられず、軸がずれて一点を集中的に摩擦できませんでした。それでも、子どもたち（大人も）何度もチャレンジし、少し煙が出るくらいはできました。この先に火が起きる世界があるのだとは感じられたようです。

そのあとは、地元野菜中心の豚汁と焼き芋を作って食べました。大鍋の豚汁はおいしく、焼き芋も甘く柔らかくうまくできました。春のような気温の中、長いササの枝で遊んだり、木の椅子に腰かけておしゃべりしたり、ゆったりした時間を楽しんだ後、最後に整備のお手伝いをしました。伸びたササを刈り、落ち葉を集めて堆肥場へ。

今年度はなかなか里山活動ができなかったもので、より一層、里山の自然が元気をくれることを感じられたのではないのでしょうか。

